



当校は、平成30年4月1日に本校化され、県立小出特別支援学校川西分校（高等部）から「県立川西高等特別支援学校」になります。校章には、生徒の社会的自立を目指す姿を通して、地域と共に発展する学校となるために3つの願いを込めました。

- 1 生徒が、大きな花を開花させるために心身を鍛え、自分自身の内面の成長と社会での成長を遂げ、地域に根差した人材として活躍してほしい。（やまゆり：旧川西町の町花）
- 2 生徒が、夢を目指して飛び続ける力を身に付け、広い社会へ力強く羽ばたいてほしい。（3羽の白い鳥）
- 3 生徒が、信濃川のように、たゆみなく・おおらかに・成長し続けてほしい。（やまゆりの葉、信濃川）

校章制定委員会

#### <校歌に託した願い>

生徒が、教育目標「夢をえがき 一步一步 前進する生徒」を実現するまでに見せる姿をフレーズに反映させました。

1番では入学した生徒が、初めて出会う仲間と喜びや悲しみを共に分かち合い、一步一步夢に向かって前進する姿を歌詞にしました。2番では、学校生活の中で心がつながった仲間と学習を通して高め合い、卒業後の自らの夢をつかみ取るまでの姿を想像しました。

学校生活の節目で校歌を歌うことで、生徒が初心に戻り、自分の目指す理想の姿を思い出してほしい。また、笑顔で互いに支え合うことができる仲間の大切さに気付き、あせらずに自分らしく前に進み、夢をつかみ取る気持ちを強くしてほしい。そして、生徒の夢を支える保護者・教職員・地域が、成長の過程で見せる生徒の姿を思い起こし、一致団結してほしい。

様々な願いを託したすばらしい校歌に仕上がりました。

校歌制定委員会

#### <学校名版（木版）に託した願い>



学校名の文字色：

当校のスクールカラーである青色をベースに用いました。生徒が毎日目にする生徒玄関にあることで、自分たちのスクールカラーを意識してほしいと考えました。

「學」を用いた意味：

「學」の成り立ちは、「教える者が、学ぶ者を向上させて交わる場」というものです。当校では、教師が生徒の社会自立を実現するために様々なスキルの向上を目指す教育活動を実施しています。教え教わる過程で、生徒も教師もともに高め合うことができる学校を目指します。